

船舶事故等調査報告書

平成27年8月27日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2015横第51号
事故等種類	衝突
発生日時	平成27年4月25日 15時20分ごろ
発生場所	愛知県三河港 三河港蒲郡東防波堤西灯台から真方位283°530m付近 (概位 北緯34°48.93' 東経137°13.14')
事故等調査の経過	平成27年4月27日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	A 貨物船 <small>シンハイ</small> XIN HAI（ベリーズ籍）、1,997トン 9291925（IMO番号）、XIN HAI SHIPPING CORPORATION LIMITED B 貨物船 <small>にちしま</small> 日島丸、499トン 141022、独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構、朝日海運株式会社
乗組員等に関する情報	A 船長A（中華人民共和国籍）、免状不詳 B 船長B、四級海技士（航海）
死傷者等	なし
損傷	A 右舷ブルワークの曲損、船首右舷外板に擦過傷 B 船橋右舷ウイング後部に凹損、亀裂及び擦過傷、救命筏架台に曲損等
事故等の経過	A船は、船長Aほか11人（全員中華人民共和国籍）が乗り組み、三河港蒲郡地区の蒲郡ふ頭5号岸壁（以下「5号岸壁」という。）の6号岸壁寄りにおいて、入船右舷着けで係留し、荷役作業を終えて、平成27年4月25日15時15分ごろ離岸した。 A船は、後進しながら揚錨していたところ、風に圧流されて5号岸壁の4号岸壁寄りに係留中のB船へ接近し、15時20分ごろ右舷船首がB船の右舷船尾に衝突した。 A船は、港内で錨泊し、海上保安庁による調査を受けた後、18時35分ごろ出港した。 B船は、5号岸壁の4号岸壁寄りにおいて、出船左舷着けで係留中、B船の航海士が、風によってB船の方へ圧流されて来るA船を認め、右舷のウイングに出て、声を上げ、身振りで注意喚起をしたものの、A船が接近を続けるので、危険を感じて船橋内に避難をしたところ、A船と衝突した。 B船は、機関長がA船と衝突したことを海上保安庁へ通報した。

<p>気象・海象</p>	<p>気象：天気 晴れ、風向 西、風力 5 海象：波向 西、波高 約0.5m、潮汐 下げ潮の末期</p>
<p>その他の事項</p>	<p>A船は、空倉状態であった。 B船の航海士は、A船の船首にいた乗組員がフェンダを用意したものの、海に落としてしまったのを見た。</p>
<p>分析 乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象等の関与 判明した事項の解析</p>	<p>A 不明、B なし A 不明、B なし A あり、B なし A船は、三河港蒲郡地区の5号岸壁において、風力5の西風が吹く状況下、離岸作業中、風に圧流されたことから、係留中のB船に衝突したものと考えられる。 B船は、5号岸壁において係留中、A船が衝突したものと考えられる。</p>
<p>原因</p>	<p>本事故は、三河港蒲郡地区の5号岸壁において、風力5の西風が吹く状況下、A船が離岸作業中、B船が係留中、A船が風に圧流されたため、B船に衝突したことにより発生したものと考えられる。</p>
<p>参考</p>	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 ・風のある状況下で離岸作業を行う際には、慎重な操船を行い、必要に応じてタグボートを使用すること。</p>